

原子力災害からの復興を果たすグローバル・リーダーの育成

◆ 目的：社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、福島県の復興に寄与するグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する。

課題研究

5つの研究班

原子力防災研究

メディア・コミュニケーション研究

再生可能エネルギー研究

アグリ・ビジネス研究

スポーツと健康研究

国内研修

基礎的学び 「産業社会と人間」において、連携中学校から継続して学ぶ『ふるさと創造学』の中で、ふるさとについての学習し、国内へと視野を広げる。

広島県・長崎県を訪問し、放射線防御、災害からの街づくり、人権について学習する。

いわき明星大学・南相馬ソーラー・アグリパーク等にて、再エネの可能性を研究する。

いわき小名浜菜園にて、インターンシップを行う。

福島大学へ行き、効果的なトレーニング方法を学習する。

海外研修

発展的学び 学校設定科目において、専門的知識を高め、総合的な学習の時間において課題研究を行い、視野を地域から世界へと広げる。

地方創生イノベーションスクール (OECD東北スクール後継事業)

ドイツ研修 (1~2年次)

・海外の地域・学校との研究交流、協同

タイ研修 (1年次)

・海外進出企業 等

アメリカ研修 (2年次)

・原子力災害関連施設
・再生可能エネルギー関連施設 等

地域再生

国・県への提言

応用的学び 自分の将来を考え、地域の復興につながるテーマについての研究を深め、世界に発信していく。

国内外で研究成果を発表
復興庁、環境省などへ提言

国際的
素養の育成

社会へ未来へ貢献するグローバル・リーダー

先進の学びで地域へ、地域から世界へ、未来へ 社会に貢献する人材の育成

産業社会と人間

学校設定科目

総合的な学習の時間

魅力ある学校とするための先進的な教育を実践するとともに、ふるさとの復興を担い、双葉郡の中学校との連携を確立する。

- ◆ 防災教育・ふるさと創造学から地域を考える授業
- ◆ 各界の第一人者、地元企業及び地域の方々からの授業
- ◆ 生徒が主体のアクティブラーニングを導入した授業

- ◆ 再生可能エネルギー施設の見学
- ◆ 風評被害の払拭に取り組む農家での就業体験
- ◆ 総合学科研究発表会での発表
- ◆ 福島・国際研究産業都市構想との連携

1年次

2年次

3年次